

**令和4年度（2022年度）（第16期） 横浜国立大学**  
**副専攻プログラム「統合的海洋管理学」 募集要項・履修案内**

### 1. 統合的海洋管理学副専攻プログラムの目的と概要

2007年4月に海洋基本法が成立しました。国の施策として、大学に対しても海洋に関する研究と人材育成が強く求められています。このような社会的要請に対応可能な大学は限られていますが、港湾都市として発達してきた歴史を持つ横浜を本拠とする本学は、海洋関連の教育研究に関して、造船、海洋開発、海岸工学、海洋資源、海洋環境、沿岸域管理、海上保安等の分野で内外から高い評価を得てきました。

統合的海洋管理学副専攻プログラム（以下「プログラム」という。）は、科学的な理解と認識に基づく海洋の持続可能な開発・利用という理念と、海洋の国際秩序を先導し、国際協調を促進するという理念の下で、「海洋の統合的管理能力」の習得を目的にした修士課程の副専攻教育のためのものです。本プログラムを通じて、多様な分野の多様な専門能力と、海洋の統合管理に必要な視野の広さを兼ね備える人材の育成を目指します。

### 2. 応募要件

本学の学府・研究科・学環に在学籍する大学院生

[注] プログラムを修了するためには、コア科目（必修）等の履修に加えて、別に指定する研究科・学府・学環の授業科目の履修が必要です。指導教員と相談した上で応募してください。

なお、大学院教育強化推進センターで開講する「統合的海洋管理学Ⅰ・Ⅱ」は、大学院全学教育科目として位置づけられており、プログラムの履修申請を行わない大学院生であっても、自由に履修できます。

### 3. 募集人員

プログラムの募集人員は、以下のとおりです。

博士課程前期・修士課程	40名程度
博士課程後期	若干名

### 4. 修了要件

プログラム修了の認定には、以下のすべての要件を満たす必要があります。

- (1) コア科目（必修） 2科目4単位の修得
- (2) 関連科目（選択） 3科目6単位以上の修得。
- (3) 修了年次におけるポスターセッションへの参加（毎年2月の実施予定。内容は各自の修士・博士課程における研究等の内容と、それがどのように海洋と関連付けられるかを発表して頂きます。）

## 5. プログラム授業科目

プログラム履修者は、「4. 修了要件」に従って、以下の授業科目【資料1】を履修してください。

(1) コア科目（必修） 2科目4単位

「統合的海洋管理学Ⅰ」（令和5（2023）年 春学期・2単位）

「統合的海洋管理学Ⅱ」（令和4（2022）年 秋学期・2単位）

※これらの科目は、大学院全学教育科目として開講します。

※シラバス及び日程表は【資料2～3】を参照してください。

(2) 関連科目（選択） 3科目6単位以上


関連科目は、学府・研究科・学環が開講する授業科目の中から、プログラムが指定した科目です。


関連科目の一覧については、【資料1】を参照してください。

※コア科目及び関連科目の修得単位は、在籍する学府・研究科・学環の修了要件に含まれる場合があります。  
修得単位の扱いについては、所属する学府・研究科・学環の担当係に確認してください。

## 6. プログラムの履修パターン

令和4年度（2022年度）秋学期からのプログラム履修者は、秋学期に、コア科目「統合的海洋管理学Ⅱ」を履修し、令和5年度（2023年度）春学期に、同「統合的海洋管理学Ⅰ」を履修します。また、コア科目の履修と並行して、関連科目（選択）を履修します。さらに、プログラムを修了するためには、令和5年度（2023年度）の秋学期に行われるポスターセッションで発表することが義務付けられます。

	2022年度			2023年度		
	春学期	秋学期		春学期	秋学期	
春学期から 受講する場合	統合的海洋 管理学Ⅰ	統合的海洋 管理学Ⅱ	2023年2月 ポスターセッション は参加義務			ポスターセッション 発表会

	2022年度			2023年度		
	春学期	秋学期		春学期	秋学期	
秋学期から 受講する場合		統合的海洋 管理学Ⅱ	2023年2月 ポスターセッション は参加義務	統合的海洋 管理学Ⅰ		ポスターセッション 発表会

## 7. プログラムの応募手続き及び履修登録

プログラムの履修を希望する大学院生は、指導教員と相談した上で、必要な書類を下記 URL のページからダウンロードして作成し、提出してください。なお、電子ファイルを利用できない場合は、大学院教育強化推進センター事務室で配布している様式（後半に添付）をご利用下さい。

ダウンロード先：大学院教育強化推進センター—統合的海洋管理学プログラム

(<https://www.yec.ynu.ac.jp/gsec/ioeprogram.html>)

(1) プログラム履修希望者

- ① 履修申請書【様式1】
- ② 履修計画表【様式2】

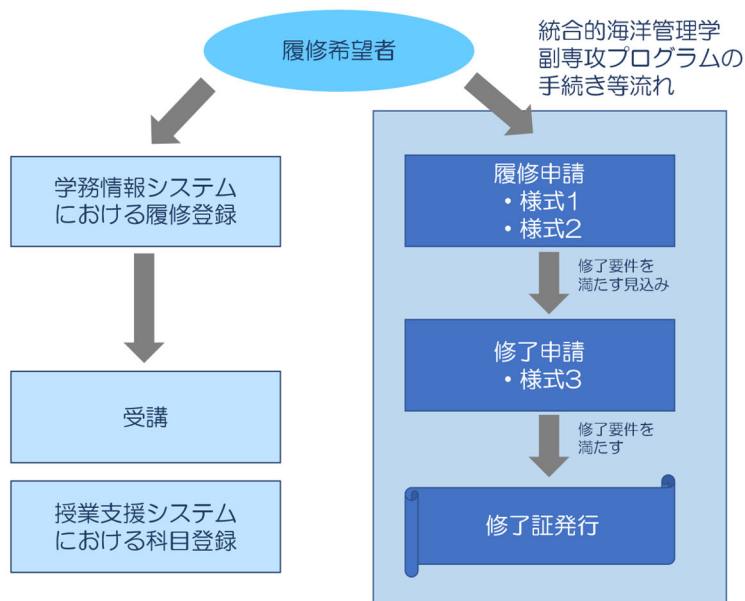
(2) 「統合的海洋管理学Ⅰ・Ⅱ」の履修希望者

「統合的海洋管理学Ⅰ・Ⅱ」は、大学院全学教育科目として開講しますので、特別な手続きは不要です。所属する学府・研究科の手続きに従い、通常の科目と同じように履修登録をしてください。

コア科目と関連科目の履修登録は、履修申請書【様式1】と履修計画表【様式2】を大学院教育強化推進センターに提出するとともに、これらの科目は、在籍する学府・研究科・学環が定める所定の期間内に履修登録してください。

[注] 1. 履修申請書【様式1】と履修計画表【様式2】を大学院教育強化推進センターに提出しただけでは、履修登録は完了しません。必ず、在籍する学府・研究科・学環が定める期間内に履修登録を行ってください。

2. 関連科目の単位は、所属する学府・研究科・学環の修了要件に含まれる場合があります。詳細については、所属する学府・研究科・学環の担当係に確認してください。
3. 提出した履修計画表に変更がある場合は、新たに履修計画書を提出してください。



## 8. 応募期間

プログラムへの申請書類は、下記の応募期間内に以下の通りの方法で提出して下さい。

- 応募期間： 令和4年10月5日（水）～10月18日（火）16時まで
- 提出方法： 授業支援システムによる提出
- 提出場所： 「統合的海洋管理学Ⅱ」
  - ⇒「講義内容」
  - ⇒「共通資料など」
  - ⇒レポート教材「副専攻プログラムとしての履修書類の提出用」

## 9. プログラム修了申請

プログラム履修者は、プログラムの修了要件を満たす見込みとなった時点で、大学院教育強化推進センター事務室に修了申請を行ってください【様式3】。対象者には大学院教育強化推進センター事務室より、「修了申請手続きと修了ポスターセッションに関するお知らせ」を登録メールアドレスに配信します。（修了申請の時期は1月下旬を予定しています。）

## 10. 副専攻プログラム修了証

プログラムの修了者に対し、『**統合的海洋管理学修了証**』を授与します。

当該プログラム修了証は、いわゆる資格・免許ではありませんが、副専攻プログラムの修了者であることを証明するものであり、上記の目的に沿った人材育成教育を履修したことを証するものです。

## 11. プログラムの教務関係事務手続きおよびその他の問い合わせ先

大学院教育強化推進センター事務室：

高大接続・全学教育推進センター・大学院教育強化推進センター内（建物番号：S5-2）

電話：045-339-3141 E-mail：[gse-center@ynu.ac.jp](mailto:gse-center@ynu.ac.jp)

## 【資料1】令和4年度（2022年度）統合的海洋管理プログラム授業科目一覧

### 1. コア科目（必修）

※科目詳細は大学院教育強化推進センターにお問い合わせください。

時間割コード	科目名	設置学府名等	単位数	教員名	開講学期	開講日程	授業形態
9GC1101	統合的海洋管理学Ⅰ	大学院全学教育科目	2	オムニバス	春学期	月曜4限	対面・遠隔併用 (担当者ごとで異なる)
9GC1102	統合的海洋管理学Ⅱ	大学院全学教育科目	2	オムニバス	秋学期	月曜4限	対面・遠隔併用 (担当者ごとで異なる)

### 2. 関連科目（選択）（各研究科・学府・学環において開講）…3科目6単位以上

※時間割コードについては、必ず開講元の最新の履修案内を確認してください。

※博士課程のみ対象の科目もあります。科目詳細や最新情報については設置学府等にお問い合わせください。

時間割コード	科目名	設置学府名等	単位数	教員名	備考
9GC1201	沿岸域管理の法制度	大学院全学教育科目	2	加々美康彦	
9GC1202	海洋政策と法制特論	大学院全学教育科目	2	中原裕幸	
9GN1201 NA30114(理工) UC05023・ UC05024(学環)	リスクベースによる規則制定手法	大学院全学教育科目 理工学府	2	吉田公一 ／岡田哲男他	
9GN1202 NA30121(理工)	海洋産業特論	大学院全学教育科目 理工学府	2	高品純志	
9GC2101 RC00060(都市) UC07008(学環)	地域創造論	大学院全学教育科目 都市イノベーション学府	2	高見沢実	
UC09017・ UC09018(学環)	国際法研究Ⅰ	国際社会科学府	2	荒木一郎	令和4年度は先進実践 学環所属学生のみ履修可
PC11002 UC09019・ UC09020(学環)	国際法研究Ⅱ	国際社会科学府	2	荒木一郎	
NA30254 UC06007・ UC06008(学環)	船舶設計システム工学論	理工学府	2	満行泰河	
NA30051 UC06011・ UC06012(学環)	乱流工学概論	理工学府	2	高木洋平	
NA30084 UC06009・ UC06010(学環)	浮体運動工学	理工学府	2	村井基彦	
NA30024 UC06013・ UC06014(学環)	海洋資源エネルギー工学入門	理工学府	2	西佳樹	

時間割コード	科目名	設置研究科・学府名等	単位数	教員名	備考
H320105 UC06003(学環)	野生動物・水産資源管理学	環境情報学府	1	松田裕之	
H320094 UC06004(学環)	生態リスクと社会的合意	環境情報学府	1	松田裕之	
H320152 UC06015(学環)	海洋生物環境学Ⅰ	環境情報学府	1	下出信次	
H320202 UC06016(学環)	海洋生物環境学Ⅱ	環境情報学府	1	下出信次	
H320331 UC06017(学環)	環境法Ⅰ	環境情報学府	1	及川敬貴	
H320141 UC04033(学環)	古生態学Ⅰ	環境情報学府	1	和仁良二	
H320191 UC04034(学環)	古生態学Ⅱ	環境情報学府	1	和仁良二	
H320234 UC04011(学環)	地球システム科学Ⅰ	環境情報学府	1	石川正弘	
H320305 UC04012(学環)	地球システム科学Ⅱ	環境情報学府	1	石川正弘	
H320414 UC04037(学環)	湖と川の生態学Ⅰ	環境情報学府	1	鏡味麻衣子	
H320425 UC04038(学環)	湖と川の生態学Ⅱ	環境情報学府	1	鏡味麻衣子	
H990082 UC04041(学環)	古海洋学	環境情報学府	1	河潟俊吾	
H990231 UC06019(学環)	海洋地質学	環境情報学府	1	河潟俊吾	
RB00008	水圏環境論	都市イノベーション学府	2	比嘉紘士	
WAT0107	水圏環境特論	都市イノベーション学府	2	比嘉紘士	
RB00009	水圏防災論	都市イノベーション学府	2	鈴木崇之	
WAT0108	水圏防災特論	都市イノベーション学府	2	鈴木崇之	
RB00004	地盤設計学	都市イノベーション学府	2	早野公敏	所属院生のみ対象
WAT0104	地盤設計特論	都市イノベーション学府	2	早野公敏	所属院生のみ対象

令和4年度 副専攻プログラム「統合的海洋管理学」コア科目・関連科目 授業時間割表(秋学期)

	1限 (8:50~10:20)						2限 (10:30~12:00)						3限 (13:00~14:30)						4限 (14:40~16:10)						5限 (16:15~17:45)												
	コード	授業科目	担当 教員	期間	単位	学年 使用 教室	コード	授業科目	担当 教員	期間	単位	学年 使用 教室	コード	授業科目	担当 教員	期間	単位	学年 使用 教室	コード	授業科目	担当 教員	期間	単位	学年 使用 教室	コード	授業科目	担当 教員	期間	単位	学年 使用 教室							
月							NA30024 UC06013・ UC06014(学環)	海洋資源エネルギー工 学入門	西 佳樹	秋	2								9GC1102	統合的海洋管理学Ⅱ	村井 基彦 ほか	秋	2														
火							NA30084 UC06009・ UC06010(学環)	浮体運動工学	村井 基彦	秋	2								H320152 UC09015(学環)	海洋生物環境学Ⅰ	下出 信次	秋	1								H320202 UC06016(学環)	海洋生物環境学Ⅱ	下出 信次	秋	1		
水							9GC1202	海洋政策と法制特論	中原 裕幸	秋	2								NA30254 UC06007・ UC06008(学環)	船舶設計システム工学 論	満行 泰河	秋	2							H320414 UC04037(学環)	湖と川の生態学Ⅰ	鏡味 麻衣子	秋	1			
							H320425 UC04038(学環)	湖と川の生態学Ⅱ	鏡味 麻衣子	秋	1								H320234 UC04011(学環)	地球システム科学Ⅰ	石川 正弘	秋	1							H320305 UC04012(学環)	地球システム科学Ⅱ	石川 正弘	秋	1			
木							PC11002 UC09019・ UC09020(学環)	国際法研究Ⅱ	荒木 一郎	秋	2							H320105 UC09003(学環)	野生動物・水産資源管 理学	松田 裕之	秋	1						9GN1201 NA30114(理工) UC05023・ UC05024(学環)	リスクベースによる規 則制定手法	吉田 公一、 岡田 晋男	秋	2					
金													H320094 UC06004(学環)	生態リスクと社会的合 意	松田 裕之	秋	1			WAT0108	水圏防災特論	鈴木 崇之	秋	2							RB00009	水圏防災論	鈴木 崇之	秋	2		
その他																																					

## 【資料 2】 令和 4 年度（2022 年度） コア科目（必修） シラバス

コア科目は「統合的海洋管理学Ⅰ」「統合的海洋管理学Ⅱ」です。

関連科目（本要項の【資料 1】参照）については、各学府・研究科・学環のシラバスを参照してください。

### 第 16 期 統合的海洋管理学Ⅱ（令和 4 年度・2022 年度 秋学期）

<b>科目名（英文名）</b> 統合的海洋管理学Ⅱ[Integrated Oceanic and Coastal Management Ⅱ]						
<b>担当教員（ローマ字表記）</b> 村井 基彦[MURAI MOTOHIKO]						
<b>開講学部等</b>	全学教育／教養	<b>対象年次</b>		<b>単位数</b>	2	<b>使用言語</b>
<b>開講時期</b>	教育 秋学期 月 4	<b>クラス</b>		<b>時間割コード</b>	9GC1102	
<b>特記事項</b>	大学院全学教育科目					
<b>ナンバリングコード</b>				<b>実務経験のある教員の授業</b>		
<p><b>【授業目的】</b> 科学的な理解と認識に基づく海洋の持続可能な開発・利用という理念と海洋の国際秩序を先導し、国際協調を促進するという理念の下で、「海洋の統合的管理のための基礎能力」の醸成を図る。本科目は、この目的を達成するために特別に企画されたオムニバス講義であり、海に関する学内外の多様な分野の専門家が最先端の知見を提供する</p> <p><b>【授業計画】</b> 1. 世界と日本の海洋史 2. 海洋の安全保障 3. 海事活動の国際管理 4. 水産資源の利用と持続可能な水産業の姿Ⅰ 5. 水産資源の利用と持続可能な水産業の姿Ⅱ 6. 海の環境保全制度 7. 市民の海洋利用と海洋リテラシー 8. 沿岸域の防災・減災・危機管理 9. 沿岸域管理の国際動向 10. 海洋再生エネルギーの利・活用 11. 海洋への人工衛星リモートセンシング技術の応用 12. わが国の周辺海域を守る海上保安活動 13. 海底資源利用の環境配慮 14. シンポジウム又は学内開催 15. 修了生による ポスターセッション (講師の都合等により、講義内容に変更の可能性があります。)</p> <p><b>【授業時間外の学修内容】</b> 海洋について、授業を通して得られた視点を持って、特に自分の専門外のことに対して積極的な調べ学習を実践する。</p> <p><b>【履修目標】</b> 本講義を受講する過程で、海洋にまつわる多面的な視点を身につけることができる。また、自身の研究に関して、他分野の人に対しても伝わるように説明することができる。</p> <p><b>【到達目標】</b> 海洋の歴史や構造ならびにその利用・開発・管理・保全のあり方についての論点を提示することができる。 海洋の統合管理に関する分野・専門能力の多様性を捉えるとともに、かかる多様性をもつ可能性と課題について説明することができる。</p> <p><b>【授業方法】</b> 担当教員による遠隔講義を中心とする。 講義はオンデマンドでも受講可能だが、リアルタイムオンラインや対面の回もあるので、適宜確認すること。 また、各回に課題を課す。課題は各講義日の週中に授業支援システム経由で提出のこと。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 最終レポート 30 点、各回の課題等 70 点(ミニレポート及び討論への参加状況等)</p> <p><b>【教科書】</b> -</p> <p><b>【教科書補足】</b> 教科書： 毎回資料を配布する。</p> <p><b>【参考書】</b> -</p> <p><b>【参考書補足】</b> 上記参考図書以外については授業中に適宜指示する。</p> <p><b>【履修条件及び関連科目】</b> 履修条件： 統合的海洋管理学Ⅰ,Ⅱ の順での履修を推奨する 関連科目： 統合的海洋管理学Ⅰ</p> <p><b>【備考 1】</b> 大学院全学教育科目</p> <p><b>【参照ホームページ】</b></p>						



### 【資料3】統合的海洋管理学Ⅱ（令和4年度秋学期）日程・講師一覧

月曜4限（14:40-16:10）

	講義回	日付	講義タイトル(案)	担当	
				所属 役職	講師名
Ⅲ 海を管理する・ Ⅳ 海を守る	—	10/10(月)	全体ガイダンス (授業支援システム)	横浜国立大学 環境情報研究院教授	村井 基彦
	1	10/10(月)	世界と日本の海洋史	神戸大学客員教授 神奈川大学海とみたと研究所上席研究員	中原 裕幸
	2	10/17(月)	海洋の安全保障	海上自衛隊幹部学校教官(非常勤)	八木 直人
	3	10/24(月)	海事活動の国際管理	神戸大学海事科学部国際海事センター 客員教授	吉田 公一
	4	10/31(月)	水産資源の利用と 持続可能な水産業の姿Ⅰ	水産資源研究所・漁業管理グループ 主任研究員	竹村 紫苑
	5	11/7(月)	水産資源の利用と 持続可能な水産業の姿Ⅱ	水産資源研究所・漁業管理グループ 主任研究員	竹村 紫苑
	6	11/14(月)	海の環境保全制度	横浜国立大学 国際社会科学研究院教授	加藤 峰夫
	7	11/21(月)	市民の海洋利用と海洋リテラシー	ディスカバーブルー 代表理事	水井 涼太
	8	11/28(月)	沿岸域の防災・減災・危機管理	横浜国立大学 都市イノベーション研究院教授	鈴木 崇之
	9	12/5(月)	沿岸域管理の国際動向	(公財)笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員	渡邊 敦
	10	12/12(月)	海洋再生エネルギーの利・活用	横浜国立大学 環境情報研究院教授	村井 基彦
	11	12/19(月)	海洋への人工衛星 リモートセンシング技術の応用	横浜国立大学 都市イノベーション研究院准教授	比嘉 紘士
	12	1/16(月)	わが国の周辺海域を守る 海上保安活動	五管海保クラブ 顧問	三木 基実
	13	1/23(月)	海底資源利用の環境配慮	横浜国立大学 環境情報研究院教授	松田 裕之
	14	1/30(月)	シンポジウム又は学内開催	聴講及びレポート提出 (締切 別途指示)	
15	2/13(月)	修了生による ポスターセッション	見学及びレポート提出 (締切 別途指示)		

秋学期講義全15回で、上表記載のとおりシンポジウム(又は学内開催)と、最終回のポスターセッションがあります。  
いずれも履修生は参加必須です。

問い合わせ先 大学院教育強化推進センター事務局 (e-mail: gse-center@ynu.ac.jp TEL: 045-339-3141)